

## お客さま本位の業務運営に関する取組方針

令和7年10月24日  
伊万里市農業協同組合

J Aグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

また、当組合では、経営方針において「農家とJ Aが一体となって取り組む『農業生産を支える人・組織づくり』の強化によって農業所得の増大・農業生産の拡大への改革に取り組む」とともに、「准組合員のJ A事業への積極的な参画等によって地域の活性化に取り組む」こととしている。

この方針の下、重点事項の一つとして「組合員のメンバーシップの強化を図り、J A事業を通じて地域貢献に寄与し、信頼される組織づくり」を掲げております。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成と様々なリスクに対応すべく「ひと・いえ・くるま及び農業への総合保障」の提供を通じ、豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（以下、J A共済連）が、共同で事業運営しております。J A共済連の「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針等」は、J A共済連のホームページをご参照ください。

【原則6（注6、7）】

### 1. お客さまへの最適な商品提供、共済の仕組み・サービスの提供

#### （1）金融商品

お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。お客さまに提供する投資信託商品の選定にあたっては、JAバンクの全国機関である農林中央金庫が、下記①～⑤を基準として選定した「JAバンクセレクトファンド」を当組合の取扱商品として選定しております。

また、金融商品を選定する際、商品を組成する投資運用会社については、農林中央金庫を通じて、プロダクトガバナンスの実効性が確保されていることを確認のうえ取り入れております。

さらに、製販全体で組合員・利用者の皆さまの最善の利益を実現するため、JAバンク

全体として、金融商品を購入した組合員・利用者の皆さまの属性および販売状況に関する情報等を投資運用会社に提供し、フィードバックを受けております。

なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。

#### 選定基準

- ① 「長期投資を前提とした商品性」
- ② 「相対的に良好な運用実績」
- ③ 「良心的な手数料設定」
- ④ 「過去の運用成績の再現可能性」
- ⑤ 「過度な分配を追求しない運用方針」

【原則 2 本文および（注）、原則 3（注）、原則 6 本文および（注 2、3、6、7）、補充原則 1～5 本文および（注）】

#### （2）共済仕組み・サービス

当組合は、組合員・利用者の皆さまが、生活や農業を取り巻く様々なリスクに対して、安心して備えられるよう、各支所、出張所に共済渉外担当のライフアドバイザー、窓口を担うスマイルサポーターを設置し、交通事故対応を行う安心サポーターと連携を図り、最良で最適な共済の仕組み・サービスを提供します。

なお、当組合は、市場リスクを有する共済仕組み（例：外貨建て共済）の提供は実施しておりません。

【原則 2 本文および（注）、原則 3（注）、原則 6 本文および（注 2、3）、補充原則 1～5 本文および（注）】

## 2. お客さま本位のご提案と情報提供

#### （1）信用の事業活動

①お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客さまにふさわしい商品をご提案し、お客さまの属性・適合性を判断したうえで販売いたします。

なお、提案にあたっては、次の資材等を使用します。

##### 【資材名称及び使用目的】

・資産運用ガイダンス

→資産形成・運用の必要性の訴求や投資信託の仕組、運用環境、リスク、長期・分散投資の有効性等の説明に用いる資材（JA バンク共通）

・JA バンク資産運用スタイル診断シート

→仮定の質問に回答を求めるアンケート形式の JA バンク共通の資材で、お客さまのリスク許容度を確認（共有）するために用いるもの（JA バンク共通）

【原則 2 本文および（注）、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、

2、3、4、5、6、7)】

- ②お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。特に、ご高齢のお客さまには、家族同席をお願いし、慎重かつ丁寧な対応により商品に対する理解度の十分な確認を行いながら説明する等、顧客属性に応じた提案を行います。

なお、説明にあたっては、次の資材等を使用します。

【資材名称】

- ・目論見書、販売用資料

→ファンドの運用会社が独自に作成するもので、個別ファンドの有するリスク特性や手数料、運用成績等が掲載されている資料

- ・JA バンクセレクトファンドマップ

→ファンドの運用対象とリスクをマトリックス化し、各ファンドをマトリックス内に配した一覧表で、お客様のリスク許容度に応じた商品を選択するための資材（JA バンク共通）

- ・重要情報シート

→JA バンクセレクトファンドを構成する全ファンドについて、金融庁が策定した様式に準じて（他金融機関等と同一形式で）商品内容や運用実績、費用等について説明する資材（JA バンク共通）

【原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

- ③お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するように、書面提示のうえ、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。

【原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

## （2）共済の事業活動

- ①ライフアドバイザーを中心とした 3 Q 活動により、組合員・利用者に寄り添い、安心と満足届けます。
- ②組合員・利用者の皆さまに対して、各種公的保険制度等にかかる情報提供を行い、一人ひとりの加入目的・ライフプラン等に応じた、最適な保障・サービスをご提案します。
- ③保障の加入にあたっては、組合員・利用者の皆さまのご意向を的確に把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解・ご納得いただけるよう、分かりやすい重要事項説明（契約概要・注意喚起事項）を実施します。
- ④特にご高齢の組合員・利用者の皆さまに対しては、より丁寧に分かりやすくご説明し、ご家族も含めて十分ご納得、ご満足いただけるよう、ご契約時にはご家族の同席等を徹底するなど、きめ細やかな対応を行います。
- ⑤なお、保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまにご負担いただく手数料等はありません。

⑥共済のご加入から共済金のお支払いまで、組合員・利用者の皆さまに分かりやすいご説明を心がけるとともに、日々の接点を通じてより安心いただけるアフターフォローを実施します。

【原則 2 本文および（注）、原則 4、原則 5 本文および（注 1～5）、原則 6 本文および（注 1、2、4、5）】

### 3. 利益相反の適切な管理

お客さまへの商品選定や保障提案にかかる情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、当組合の定める「利益相反管理方針」に基づき適切に管理します。また、利益相反管理の状況を当組合リスク管理部署において定期的なモニタリングを実施して検証・評価を行います。

【原則 3 本文および（注）】

### 4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。

その実現のために、信用事業では、専門性を有する人材育成の一環として、登録外務員等が全国システムによる再研修を毎年受講することにより、最新の法令等による規制や社内規程（系統内規則）の習熟を図ります。また、農林中金アカデミーが開催する専門家による研修を受講します。

共済事業では、公的保障研修や共済契約税務研修を継続的・定期的に受講し知識の習熟を図るとともに、組合員・利用者の皆さまの保障ニーズに応えるため、FP 2 級技能士等の資格取得に取り組んでいます。

【原則 2 本文および（注）、原則 6（注 5）、原則 7 本文および（注）】

（※）上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024 年 9 月改訂）との対応を示しています。